

2022年3月期 第2四半期累計期間 決算説明資料

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 … P.3
- 2) 営業利益の増減要因 … P.4
- 3) セグメント別売上高・営業利益 … P.5

2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 … P.7

3 2022年3月期 業績予想

- 1) 業績予想 … P.14
- 2) セグメント別売上高・営業利益 … P.15
- 3) 海外地域別売上高 … P.16



4 TOPICS

- 1) 製品のIoT化による … P.18
流通小売店・飲食店のDX推進
- 2) 安心安全な介護施設の構築や
スタッフの負担軽減支援サービス
- 3) ATMに代わるキャッシュアクセスポイントの拡大

参考資料

・2022年3月期 第2四半期累計期間

- 損益計算書・包括利益計算書 … P.22
- 貸借対照表 … P.23
- 設備投資他 … P.24
- 予想比 … P.25

・2022年3月期 通期予想

- セグメント別業績(半期) … P.27
- 海外地域別売上高(半期) … P.28
- 設備投資・配当金 など … P.29



2022年3月期 第2四半期累計期間

連結業績の概要

連結業績概要 前年同期比



【国内外ともにリテール市場が好調により、増収増益】

- ・国内市場：流通市場におけるセルフ型製品の販売および新500円硬貨発行に伴う改造作業などによる保守売上高が増加
- ・海外市場：欧米のリテール市場においてCIシリーズ（セルフ型レジつり銭機・紙幣硬貨入出金機）の販売が好調

(百万円)	第2四半期累計期間						前年同期比
	2020年3月期	売上高比率	2021年3月期	売上高比率	2022年3月期	売上高比率	
売上高	108,505	100.0%	88,625	100.0%	103,154	100.0%	+14,529 +16.4%
保守売上高	35,489	32.7%	34,750	39.2%	39,100	37.9%	+4,350 +12.5%
営業利益	9,018	8.3%	1,600	1.8%	5,735	5.6%	+4,135 +258.4%
経常利益	8,316	7.7%	1,924	2.2%	5,725	5.5%	+3,801 +197.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,859	4.5%	-52	-	2,724	2.6%	+2,776 -
※ EBITDA	15,772	14.5%	8,908	10.1%	13,785	13.4%	+4,877 +54.7%
為替 レート	ドル	109 円	107 円	110 円			
	ユーロ	121 円	121 円	131 円			

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

3

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、前年同期に比べ増収増益となりました。

売上高は、1,031億5,400万円(前年同期比プラス 145億2,900万円)
 営業利益は、57億3,500万円(前年同期比プラス 41億3,500万円)
 経常利益は、57億2,500万円(前年同期比プラス 38億 100万円)
 親会社株主に帰属する四半期純利益は、27億2,400万円
 (前年同期比プラス 27億7,600万円)となりました。

国内市場では、流通・交通市場において、人手不足対応やコンタクトレス・セルフ化ニーズを捉え、セルフ型レジつり銭機や診療費支払機等の販売が増加しました。

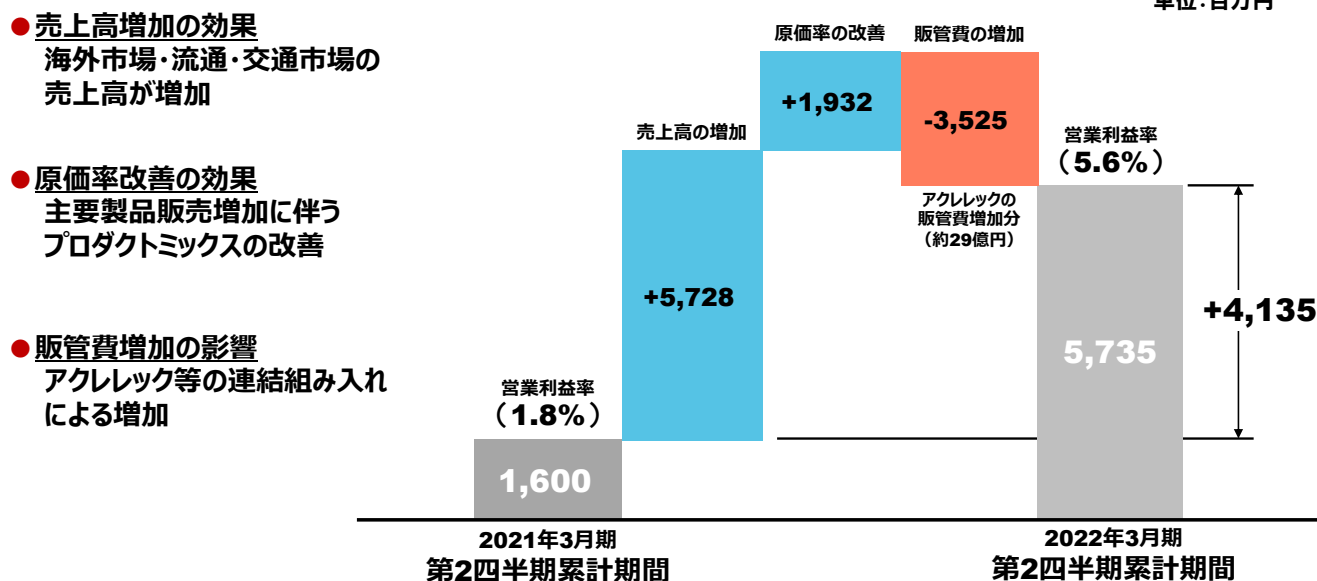
また、海外の流通市場においても、現金管理の厳正化に加えて、感染防止を背景とするコンタクトレスやセルフ化ニーズの高まりを受け、店舗のバックヤードで使用する紙幣硬貨入出金機やセルフ型レジつり銭機の販売が増加するなど、国内、海外とも流通市場の販売は好調に推移しました

営業利益 増減要因

GLORY

Confidence Enabled
人と社会の新たな価値の創造へ

単位: 百万円



次に「営業利益の増減要因」について、ご説明します。

主な増益要因は、売上高の増加に伴う効果が57億2,800万円、
原価率の改善による効果が19億3,200万円ありました。

一方、減益要因といたしましては、販管費が35億2,500万円増加しました。
販管費が増加した要因につきましては、前年度の第1四半期はAcrelec社が
連結に入っていなかったため前年同期と比較して増加しました。
Acrelec社の販管費は約29億円でした。

この結果、第2四半期累計期間の営業利益は、57億3,500万円となりました。

尚、為替の影響については、売上高でプラス35億6,800万円、
営業利益でプラス6億5,000万円の影響がありました。

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

4

セグメント別売上高・営業利益



Confidence Enabled
人と社会の「新たな価値」の創造へ

上半期実績：海外市場の売上が初めて国内を上回る

(百万円)	売上高				営業利益			
	第2四半期累計期間			前年同期比	第2四半期累計期間			前年同期比
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
海外市場	47,564	42,409	54,850	+12,441 +29.3 %	4,047	-196	1,354	+1,550 - %
金融市場	22,335	19,208	17,852	-1,356 -7.1 %	2,068	1,893	3,196	+1,303 +68.8 %
流通・交通 市場	25,483	21,076	23,558	+2,482 +11.8 %	2,919	622	2,010	+1,388 +223.2 %
遊技市場	10,543	4,874	5,754	+880 +18.1 %	1,293	-279	-106	+173 - %
その他	2,578	1,056	1,138	+82 +7.8 %	-1,309	-438	-720	-282 - %
合 計	108,505	88,625	103,154	+14,529 +16.4 %	9,018	1,600	5,735	+4,135 +258.4 %

※第1四半期より事業セグメントを見直したことに伴い、従来「その他」に含めていた生体・画像認識事業及び電子決済関連に資する事業の一部を「流通・交通市場」に新事業の一部を海外市場に区分変更。この変更により、前第1四半期のセグメント情報を変更後のセグメント区分に基づき開示

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

5

続きまして、「セグメントごとの売上高・営業利益の増減」について、ご説明します。

売上高については、金融市場を除き全てのセグメントにおいて、増収となり、
営業利益については、その他を除き全てのセグメントにおいて増益となりました。

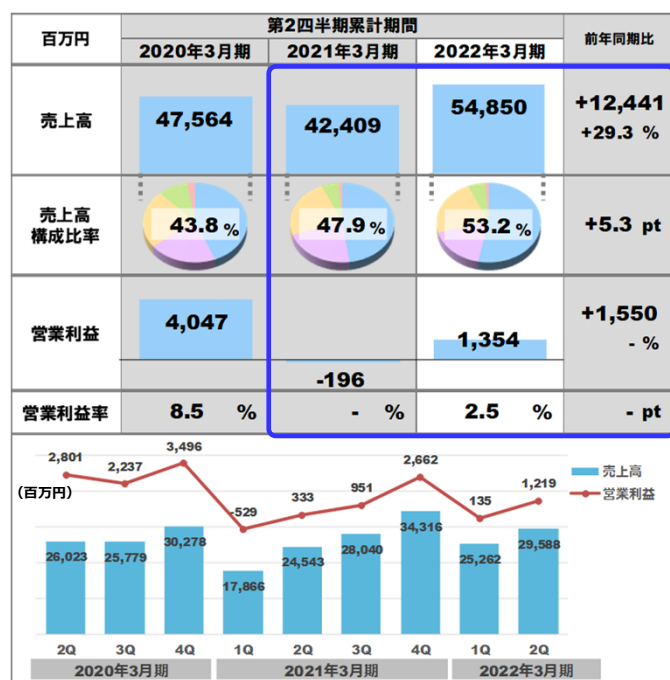
セグメントごとの状況につきましては、次ページ以降で詳しくご説明します。



2022年3月期 第2四半期累計期間

連結業績の詳細

海外市場



業績のポイント

※ TCR：紙幣入出金機

【金融市場】・欧米で更新需要の獲得によりTCRの販売が増加
▶コロナ前の水準近くまで回復

【リテール市場】・欧米の大手リテーラー向けの販売は好調
▶コロナ前を超える
・アクレレック社の販売も順調
▶コロナ前を超える

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・電子決済ソリューション
- ・新たな現金インフラを活用したソリューションなど

プロダクト	サービス
	UBIQULAR™ デジタルサービス paysafecard オンライン現金決済 プラットフォーム

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、OEM先等への販売・保守

「海外市場」について、ご説明します。

売上高は548億5,000万円(前年同期比プラス124億4,100万円)
営業利益は13億5,400万円(前年同期比プラス15億5,000万円)
となりました。

増収増益の主な要因は、金融市場向け「紙幣入出金機」<RBGシリーズ>、
リテール市場向け「紙幣硬貨入出金機<CIシリーズ>」の販売が好調でした。
特に、リテール市場向け「紙幣硬貨入出金機<CIシリーズ>」の販売については、
新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を超える売上高となり、また、セルフ
サービスキオスク関連事業を展開すAcrelec社の業績も、新型コロナウイルス感染
症拡大前の水準を超える売上高となりました。

地域別の売上高については、次のページにてご説明します。

地域別売上高

(百万円)	第2四半期累計期間			前年同期比	現地通貨ベース
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		
米州	17,103	13,439	16,782	+3,343 +24.9 %	+21.6 %
欧州	20,703	19,578	29,726	+10,148 +51.8 %	+40.7 %
アジア	6,782	6,822	5,341	-1,481 -21.7 %	-
中国	2,265	2,535	1,296	-1,239 -48.9 %	-54.1 %
OEM	2,975	2,568	2,999	+431 +16.8 %	+16.8 %
合 計	47,564	42,409	54,850	+12,441 +29.3 %	-

- 米 州 … } リテール市場向け製品の販売は好調
- 欧 州 … } 金融市場向け製品（TCR）の販売は好調
- アジア … 主要国で金融市場向け製品の販売は低調
- 中 国 … 金融市場向け製品（紙幣整理機）の販売は低調

ACRELEC

内 アクレック	第2四半期累計期間		前年同期比
	2020年1-6月期	2021年1-6月期	
	329	1,179	+850 +258.2 %
	1,646	7,032	+5,386 +327.2 %
	163	260	+97 +59.4 %
	-	-	- %
	-	-	- %
	2,140	8,470	+6,330 +295.8 %

※2021年3月期 第1四半期にアクレック社を買収
※アクレックの決算期は12月。
2021年4-6月期より連結業績に組み入れ

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

8

米州については、ワクチン接種の進展や事業活動の制限緩和などにより、金融市場及びリテール市場の販売はともに好調に推移しました。特に、リテール市場においては、ダラージェネラルの販売が継続するなど、セルフ型レジつり銭機の販売は順調でした。

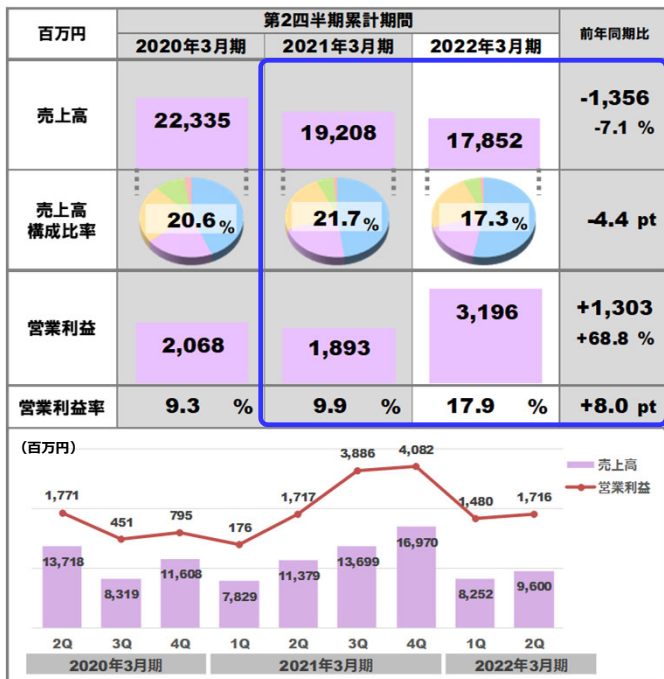
欧州についても、金融市場及びリテール市場の販売はともに好調であったことに加えて、Acrelec社の売上貢献により大幅な増収となりました。

アジアにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響により、「紙幣入金整理機<UWシリーズ>」の販売は低調でした。

金融市場

GLORY

Confidence Enabled
人と社会が育む新たな価値の創造へ



業績のポイント

・窓口用紙幣硬貨入出金機の大口需要の反動減により減収となるが、プロダクトミックスの改善や経費抑制に加えて、新500円硬貨発行に伴う改造作業などによる保守売上高の増加により増益

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・次世代店舗ソリューション
- ・生体・画像認識を活用したソリューション など

プロダクト



サービス



セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への販売・保守

「金融市場」について、ご説明します。

売上高は、178億5,200万円（前年同期比マイナス13億5,600万円）

営業利益は、31億9,600万円（前年同期比プラス13億300万円）となりました。

減収増益の主な要因は、

主要製品である「オープン出納システム」の販売は前年同期比プラス9.7%、保守売上高は新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより増加いたしましたが、「窓口用紙幣硬貨入出金機」の販売が大口需要の反動により、前年同期比70.9%減少したことなどにより、減収となりました。

増益要因は、プロダクトミックスの改善や経費抑制に加えて、新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより保守売上高が増加したためです。

連結業績の概要

連結業績の詳細

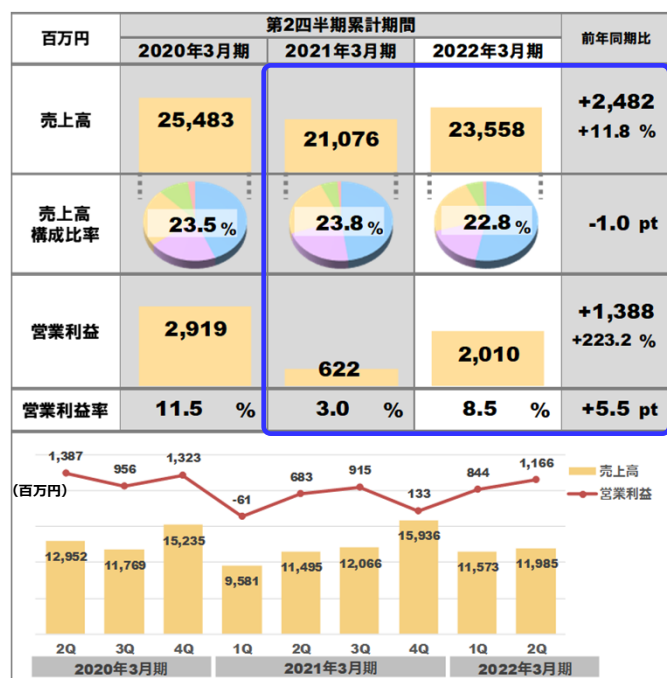
2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

9

流通・交通市場



業績のポイント

- ・レジつり銭機の販売は、人手不足への対応に加えて、コンタクトレスニーズ、セルフ化ニーズの需要拡大により増加。
- ・新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより保守売上高が増加

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・電子決済ソリューション
- ・生体・画像認識を活用したソリューション など

プロダクト



サービス



セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、公共交通機関、病院自治体等への販売・保守

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

10

「流通・交通市場」について、ご説明します。

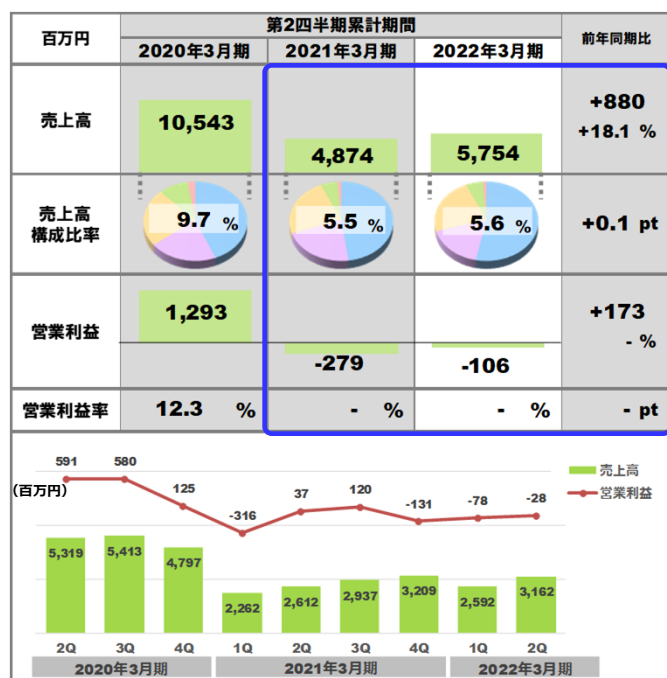
売上高は 235億5,800万円（前年同期比プラス24億8,200万円）

営業利益は、20億1,000万円（前年同期比プラス13億8,800万円）

となりました。

増収増益の主な要因は、新500円硬貨発行に伴う改造作業などによる保守売上高の増加に加えて、人手不足やコンタクトレス・セルフ化ニーズの高まりを受け、主要製品である「レジつり銭機」の販売が、前年同期比プラス7.5%と好調に推移しました。

遊技市場



業績のポイント

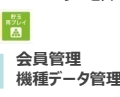
・主要製品の「カードシステム」及び「ホール向け賞品保管機」の販売は前年同期と比べ増加したが、コロナ前の水準までには戻らず

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・電子決済ソリューション
- ・生体・画像認識を活用したソリューション など

プロダクト



サービス

セグメントの概要

国内の遊技場（パチンコホール等）への販売・保守

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

11

「遊技市場」について、ご説明します。

売上高は、57億5,400万円（前年同期比プラス8億8,000万円）

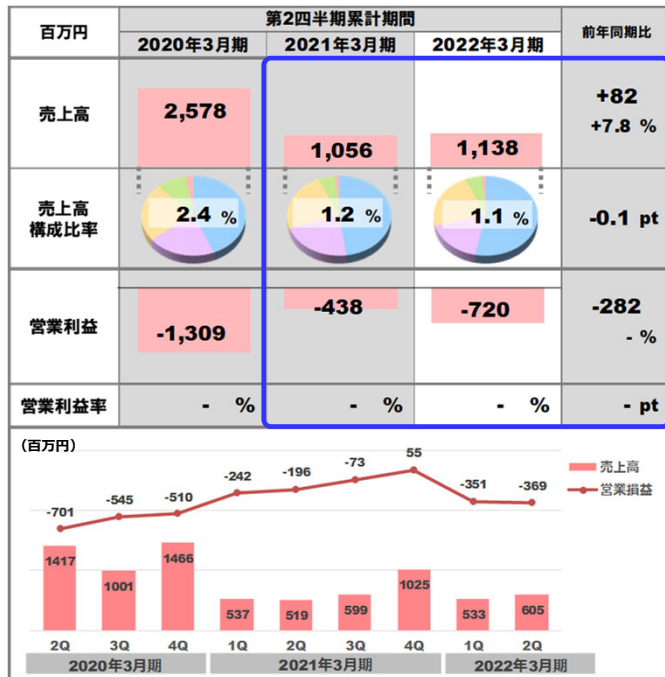
営業損益は、1億600万円の損失（前年同期は2億7,900万円の損失）となりました。

主要製品である「カードシステム」等の販売は、店舗休業や時短営業などの下押し要因があった前年同期に比べプラス14.8%となりましたが、本格的な需要回復までには至りませんでした。

その他

GLORY

Confidence Enabled
人と社会が育む新たな価値の創造へ



業績のポイント

- ・新領域事業への人的リソースの投入や実証実験など、戦略的投資を継続実施

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・電子決済ソリューション
- ・生体・画像認識を活用したソリューションなど

プロダクト



不定形物認識技術システム

サービス



離院防止システム
転倒検知システム

セグメントの概要

4セグメントに属さない販売・保守

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

12

これまでご説明した4つのセグメントに属さないその他の事業につきましては、

売上高は 11億3,800万円 (前年同期比プラス8,200万円)

営業損失は 7億2,000万円の損失 (前年同期は4億3,800万円の損失) となりました。

営業損失が増加した主な要因につきましては、新領域事業確立に向けた人的リソースの確保や実証実験等による先行投資費用によるものです。

以上で、「2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績」に関する説明を終わらせていただきます。



2022年3月期 通期

業績予想

2022年3月期 通期業績予想

【増収減益を予想】

- ・国内市場：新500円硬貨発行に伴い増加した保守売上の反動減により、減収減益を見込むが、流通市場におけるコンタクトレス、セルフ化ニーズを捉え、セルフ型製品の販売が堅調と予想
- ・海外市場：設備投資意欲の回復により、金融市場およびリテール市場ともに増収増益になる見通し

【修正理由】

国内外ともに製品・サービスの需要は堅調ではあるが、半導体等の部品入手難や部材価格の高騰に加え、海上輸送逼迫など先行きに不透明感があるため、売上高、営業利益、経常利益については据え置き。

親会社株主に帰属する当期純利益は、viafintech GmbH の株式譲渡による売却益を計上予定のため45億円から75億円に上方修正。

(百万円)	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		前期比
	通 期	売上高 比率	通 期	売上高 比率	通 期 予想	売上高 比率	
売上高	224,170	100.0%	217,423	100.0%	225,000	100.0%	+7,577 +3.5%
保守売上高	71,099	31.7%	78,675	36.2%	76,000	33.8%	-2,675 -3.4%
営業利益	17,927	8.0%	14,201	6.5%	10,000	4.4%	-4,201 -29.6%
経常利益	15,657	7.0%	14,115	6.5%	9,500	4.2%	-4,615 -32.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,961	4.0%	6,044	2.8%	4,500 7,500	3.3%	+1,456 +24.1%
EBITDA	31,864	14.2%	29,408	13.5%	26,100	11.6%	-3,308 -11.2%
為替 レート	ドル ユーロ	109 円 121 円	106 円 124 円	105 円 125 円			

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

14

通期の連結業績予想については、国内外ともに製品・サービスの需要は堅調ですが、半導体などの部品入手難や部材価格の高騰に加え、海上輸送のひっ迫など先行きに不透明感があります。上半期業績への影響は軽微でしたが、この状況が長引けば、通期業績に影響を及ぼすことも予想されます。

このため、売上高、営業利益、経常利益につきましては8月6日の公表値を据え置きました。親会社に帰属する当期純利益につきましてはビアフィンテック社の株式譲渡益を計上予定のため、45億円から75億円に上方修正しました。

2022年3月期 通期業績予想 セグメント別売上高・営業利益

通期予想：海外市場の売上が初めて国内を上回る見込み

(百万円)	売上高				営業利益			
	通 期			前期比	通 期			前期比
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 予想		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 予想	
海外市場	103,621	104,765	120,000	+15,235 +14.5 %	9,780	3,417	5,000	+1,583 +46.3 %
金融市場	42,262	49,877	40,000	-9,877 -19.8 %	3,314	9,861	4,000	-5,861 -59.4 %
流通・交通市場	52,487	49,078	49,000	-78 -0.2 %	5,198	1,670	2,500	+830 +49.7 %
遊技市場	20,753	11,020	13,000	+1,980 +18.0 %	1,998	-290	0	+290 - %
その他	5,045	2,680	3,000	320 +11.9 %	-2,364	-456	-1,500	-1,044 - %
合 計	224,170	217,423	225,000	+7,577 +3.5 %	17,927	14,201	10,000	-4,201 -29.6 %

海外市場 欧米主要国の設備投資意欲の回復が予想されることから、金融市場、流通市場とも増収増益を見込む

金融市場 新500円硬貨発行に伴い増加した保守売上高の反動減等を予想

流通・交通市場 コンタクトレス・セルフ化ニーズが継続することを予想しており、セルフ型製品の販売拡大を目指す

遊技市場 ホールの設備投資抑制が続くと予想しており、売上高の回復には時間を要す

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

15

この状況を踏まて、「セグメント別の売上高・営業利益」の通期予想についても従来予想を据え置いています。業績が見通せるようになれば改めて公表しますので、本日は各セグメントの事業環境についてご説明します。

海外市場については、欧米のリテール市場はCIシリーズを中心に堅調な受注が続くと予想しています。金融市場では、セルフ型ロビー複合機や最新型TCRの投入によりマーケットの拡大を図ります。

アジアについては新型コロナウィルス感染症の影響が残ると思われますが、オーストラリアなどのオセアニア地域の販売拡大が期待できます。

国内金融市場については、昨年度後半は新500円硬貨発行に伴う保守売上高が増加しましたが、今年度はその反動もあり、前年度の売上を下回る見込みです。大口需要の反動も考慮すれば製品、サービスの需要は堅調に推移すると予想しています。

流通・交通市場については、セルフ化、コンタクトレス化ニーズの高まりから、セルフ型レジつり銭機の販売が引き続き好調に推移すると予想されます。また、緊急事態宣言解除により対面型サービスを基本とする外食・ホテル・レジャー産業等の回復が本格化すれば券売機やロッカーなどの売上回復も期待されます。

遊技市場については、店舗休業や時短営業などの下押し要因のあった前年度からは改善基調にはありますが、本格的な需要回復にはなおしばらく時間を要すると予想しています。

2022年3月期 通期業績予想 海外地域別売上高予想



(百万円)		通 期			前期比	現地通貨ベース
		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期予想		
	米州	38,459	34,891	42,000	+7,109 +20.4 %	+21.6%
	欧州	44,119	50,288	59,000	+8,712 +17.3 %	+16.1%
	アジア	15,267	14,730	14,500	-230 -1.6 %	-
	中国	5,694	5,521	5,000	-521 -9.4 %	-11.3%
	OEM	5,775	4,854	4,500	-354 -7.3 %	-7.3%
	合 計	103,621	104,765	120,000	+15,235 +14.5 %	-

内 アクレレック		通 期		前期比
2020年4-12月期	2021年1-12月期予想			
1,125	2,650	+1,525 +135.6 %		
7,297	14,300	+7,003 +96.0 %		
450	950	+500 +111.1 %		
-	-	- - %		
-	-	- - %		
8,873	17,900	+9,027 +101.7 %		

※2021年3月期 第1四半期にアクレレック社を買収
※アクレレックの決算期は12月。
2021年4-6月期より連結業績に組み入れ

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

16

海外の地域別売上高の通年予想につきましても、同様の理由から8月6日時点での予想を据え置いています。

スライドの右側に2020年4月に買収しましたフランスのAcrelec社の売上高を掲載しています。12月決算のため2020年度実績は2020年4月から12月、今年度予想は2021年1月から12月です。今期の売上高予想は179億円で、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年度実績175億円を上回るまでに回復すると予想しています。

4 TOPICS

- ・製品のIoT化による流通・飲食店舗のDX推進
- ・安心安全な介護施設の構築やスタッフの負担軽減支援サービス
- ・ATMに代わるキャッシュアクセスポイントの拡大

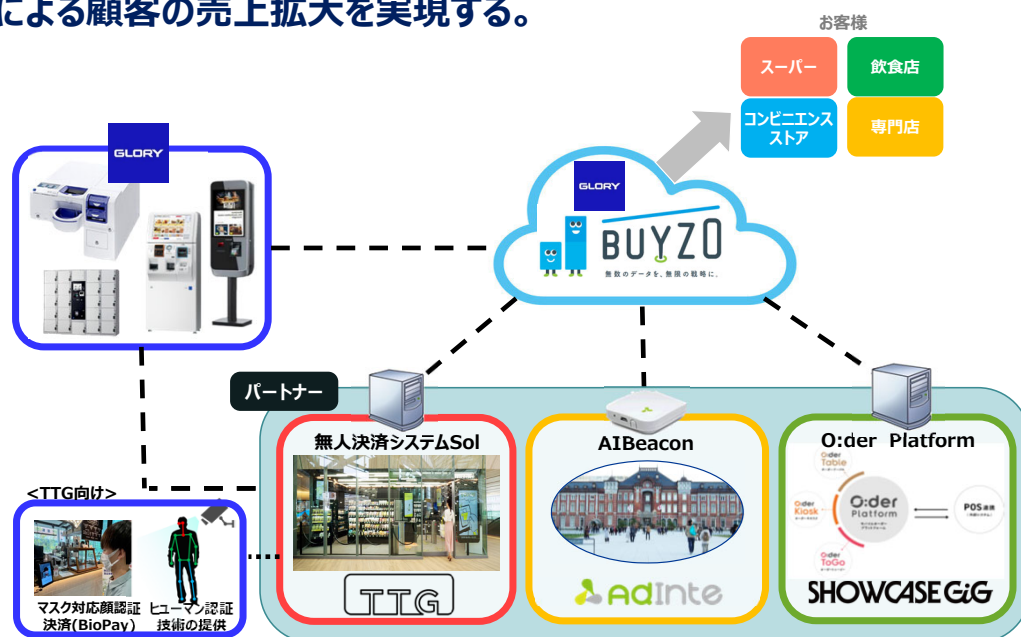
製品のIoT化による流通小売店・飲食店のDX推進

国内

深刻な『働き手不足』『コロナ禍』における社会課題をDXで解決し、集客・創客による顧客の売上拡大を実現する。

【目指すシナジー効果】

- 各社のサービスと連携させることによる製品のIoT化とクロスセル
- 小売店・飲食店の経営課題に応える顧客分析や店舗分析、ターゲティング広告等の新たなサービスの提供
- 共同DMPの構築により小売店および飲食店などの顧客基盤強化



連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

18

国内流通小売店・飲食店のデジタルトランスフォーメーション推進支援について、ご説明します。

当社は昨年5月以降、AIビーコンで収集・蓄積したデータをもとに顧客分析や行動解析、ターゲティング広告などにより、店舗の集客力向上に繋げるソリューションを展開するAdinte社。モバイルオーダーサービスの草分け的存在で、スマホ注文やオンラインで注文した商品を店舗やロッカーで受け取るサービスなどを提供するSHOWCASE GiG社。無人決済店舗システムを展開するTuch to GO社と相次いで資本業務提携を行いました。

スライドの図の通り、3社の提供するサービスに、当社のつり銭機、券売機、セルフサービスKIOSK、ピックアップロッカーなどを組み合わせて店舗運営の合理化、省人化を推進します。

また、無人店舗の運営におきましては、セルフ型釣銭機や顔認証決済(BioPay)骨格認証などを応用した店舗内でのヒューマン認識技術の提供などに加え、店舗網拡大の支援も検討しています。

そして、当社製品やAIビーコンから収集される購買データや顧客行動データを解析し、店舗マネジメント支援、ターゲティング広告など、付加価値の高いマーケティングサービスの創出を目指します。

このサービスは「BUYZO」と名付けておりますが、最終的には提携企業と共同でデータマネジメントプラットフォームを構築する構想です。

安心安全な介護施設の運営やスタッフの負担軽減支援サービス

国内 生体認識技術を活用した新たな分野(医療・介護など)へのソリューションの提供

EcoNaviSta × GLORY エコナビスタ株式会社と協業し、介護・福祉施設向け健康見守りサービスを拡大



連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

19

介護施設向けの「転倒検知システム」について、ご説明します。

現在、国内には約5万の介護施設があり、入居者の安全・安心な環境づくりとともに運営スタッフの負担軽減が課題となっています。

当社はクラウド型見守りサービス、「ライフリズムナビ」を提供するエコナビスタ社と業務提携し、「離接事故防止システム」を提供しています。

これに加えて、骨格認識技術と3次元カメラを用いた「転倒検知システム」を開発し、居室内のプライバシーの確保、暗闇での動作確認、センサーの発する光低減による快適な睡眠環境の維持などを検証するために、現在、複数の施設で実証実験を進めています。

将来、「見守りシステム」が導入されると予測しております約1万施設のうち比較的大規模な3千施設程度を当初のターゲットとし、「ライフリズムナビ」導入施設に留まらず、販売網の拡大を狙います。

ATMに代わるキャッシュアクセスポイントの拡大

海外

■ paysafecard.comとの戦略的パートナーシップ契約 ■

【目的】

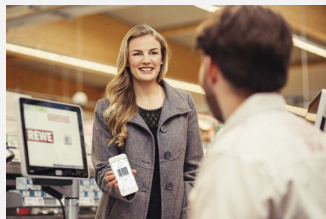
- オンライン決済サービス大手のPaysafe社のネットワークへ、GLORYの製品・サービスの供給
- 流通小売店舗等を活用した社会全体へのキャッシュサイクルの実現



セルフサービス
キオスク



紙幣・硬貨
入出金機



キャッシュ・アクセス・プラットフォーム

■ 英国のスタートアップ企業OneBanks社への出資 ■

【目的】

- OneBanks社が展開する銀行業受託サービス(現金預入や引き出しなど) 店舗への製品・サービスの提供
- OneBanks社を通じて金融機関向けの次世代サービスのノウハウを蓄積し、新たなソリューションサービスの実現を目指す



デラアシスト
セルフサービス機
G200シリーズ



銀行支店業務シェアードサービス拠点

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

20

最後に、海外市場におけるATMに代わる「キャッシュアクセスポイントの拡大」について、ご紹介します。

当社は中期経営計画において、海外市場におけるATMに代わる現金インフラを提供し、新しいエコシステムを確立することを目指しています。

その一環として、昨年1月にオンライン現金決済プラットフォームを提供するドイツviafintech社を買収し、キャッシュアクセスポイントの流通店舗への展開を目指してきましたが、今般、ブリペイドオンライン決済大手のPaysafecard社にviafintech社の全株式を譲渡するとともに、Paysafecard社とパートナーシップ契約を締結しました。当社のCIシリーズを活用した流通店舗におけるキャッシュアクセスポイントの拡大を、Paysafecard社のグローバルネットワークを活用することにより加速させたいと考えています。

次に、英国のOneBanks社への出資についてご説明いたします。

英国ではコスト削減のためにここ数年で多くの店舗やATMが閉鎖されております。デジタルバンキングの利用が広がる一方で、何百万人もの人々が主流の金融システムの外に取り残されるとの懸念が高まっています。金融当局は支店閉鎖にあたり金融機関が顧客に対してサービスの代替手段の説明を行うことを求めており、その手段の一つとしてOneBanks社などが提供する銀行業務の受託サービスの活用が推奨されています。

OneBanks社は現在、3か所のリテール店舗において複数の金融機関から受託した業務を行っており、今後、展開を加速させていく予定です。当社はOneBanks社の店舗に製品・サービスを提供するとともに、OneBanks社のシェアードサービスの核となるオープンバンキングソフトウェア技術や運営ノウハウを蓄積し、他国への展開も視野に入れます。

以上で説明を終わらせていただきます。有難うございました。

参考資料

2022年3月期 第2四半期累計期間 損益計算書・包括利益計算書

(百万円)	第2四半期累計期間						増減
	2020年3月期	売上高比率	2021年3月期	売上高比率	2022年3月期	売上高比率	
売上高	108,505	100.0%	88,625	100.0%	103,154	100.0%	+14,529
売上原価	65,054	60.0%	53,684	60.6%	60,553	58.7%	+6,869
販売費及び一般管理費	34,432	31.7%	33,340	37.6%	36,865	35.7%	+3,525
営業利益	9,018	8.3%	1,600	1.8%	5,735	5.6%	+4,135
営業外収益	409	0.4%	864	1.0%	435	0.4%	-429
営業外費用	1,110	1.0%	541	0.6%	445	0.4%	-96
経常利益	8,316	7.7%	1,924	2.2%	5,725	5.5%	+3,801
特別利益	0	0.0%	30	0.0%	10	0.0%	-20
特別損失	131	0.1%	79	0.1%	37	0.0%	-42
税金等調整前四半期純利益	8,186	7.5%	1,876	2.1%	5,698	5.5%	+3,822
法人税等	2,715	2.5%	1,651	1.9%	2,618	2.5%	+0,967
四半期純利益	5,470	5.0%	224	0.3%	3,080	3.0%	+2,856
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,859	4.5%	-52	-0.1%	2,724	2.6%	+2,776
四半期純利益	5,470	5.0%	224	0.3%	3,080	3.0%	+2,856
その他有価証券評価差額金	-191		528		-65		-593
為替換算調整勘定	-2,927		-2,132		1,370		+3,502
退職給付に係る調整額	68		179		-264		-443
その他の包括利益合計	-3,050	-2.8%	-1,416	-1.6%	1,038	1.0%	+2,454
包括利益	2,419	2.2%	-1,192	-1.3%	4,118	4.0%	+5,310

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

22

2022年3月期 第2四半期累計期間 貸借対照表



Confidence Enabled
人と社会の「新たな価値」を創出へ

(百万円)	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末	増 減	(百万円)	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末	増 減
現金・有価証券	51,090	67,055	63,954	-3,101	買掛債務	15,077	17,035	15,598	-1,437
売掛債権	41,632	56,344	42,341	-14,003	短期借入金	20,936	18,786	18,168	-618
棚卸し資産	62,109	52,516	57,988	+5,472	その他	38,520	51,767	43,101	-8,666
その他	6,929	4,680	4,280	-400	流動負債合計	74,533	87,588	76,867	-10,721
流動資産合計	161,760	180,595	168,563	-12,032	長期借入金	7,022	3,939	171	-3,768
有形固定資産	38,939	39,183	38,471	-712	その他	43,186	42,539	42,139	-400
顧客関係資産	17,913	22,473	21,727	-746	固定負債合計	50,208	46,478	42,310	-4,168
のれん	54,981	49,800	47,845	-1,955	負債合計	124,741	134,067	119,177	-14,890
その他	7,418	8,369	8,794	+425	資本金	12,892	12,892	12,892	0
無形固定資産	80,312	80,642	78,366	-2,276	利益剰余金	160,940	165,225	165,761	+536
投資その他の資産	22,745	30,792	31,882	+1,090	その他	5,183	19,030	19,454	+424
固定資産合計	141,996	150,618	148,721	-1,897	純資産合計	179,015	197,147	198,107	+960
資産合計	303,757	331,214	317,285	-13,929	負債純資産合計	303,757	331,214	317,285	-13,929

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

23

2022年3月期 第2四半期累計期間 設備投資他

(百万円)	第2四半期累計期間			前年同期比	四半期毎の推移
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		
設備投資額	4,615	4,706	4,764	+58 +1.3 %	FY19 (2Q) FY19 (3Q) FY19 (4Q) FY20 (1Q) FY20 (2Q) FY20 (3Q) FY20 (4Q) FY21 (1Q) FY21 (2Q)
減価償却費	4,851	5,101	5,625	+524 +10.8 %	FY19 (2Q) FY19 (3Q) FY19 (4Q) FY20 (1Q) FY20 (2Q) FY20 (3Q) FY20 (4Q) FY21 (1Q) FY21 (2Q)
研究開発費	6,663	6,921	7,244	+323 +4.7 %	FY19 (2Q) FY19 (3Q) FY19 (4Q) FY20 (1Q) FY20 (2Q) FY20 (3Q) FY20 (4Q) FY21 (1Q) FY21 (2Q)

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

24

2022年3月期 第2四半期累計期間 達成率 セグメント別



Confidence Enabled
人と社会の関係を再構築の推進者

(百万円)	売上高			営業利益		
	第2四半期累計期間		達成率	第2四半期累計期間		達成率
	予 想	実 績		予 想	実 績	
海外市場	56,000	54,850	97.9%	1,000	1,354	135.4%
金融市場	18,500	17,852	96.5%	2,500	3,196	127.8%
流通・交通 市場	24,500	23,558	96.2%	1,500	2,010	134.0%
遊技市場	5,500	5,754	104.6%	-300	-106	-
その他	1,500	1,138	75.9%	-700	-720	-
合 計	106,000	103,154	97.3%	4,000	5,735	143.4%

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

25

2022年3月期 第2四半期累計期間 達成率 海外地域別売上高



Confidence Enabled
人と社会が育つ未来の創造へ



(百万円)	第2四半期累計期間		達成率
	予想	実績	
米州	19,000	16,782	88.3%
欧州	28,000	29,726	106.2%
アジア	6,000	5,341	89.0%
中国	2,000	1,296	64.8%
OEM	3,000	2,999	100.0%
合 計	56,000	54,850	97.9%

内 アクレレック	2021年1-6月期		達成率
	予想	実績	
	1,200	1,179	98.2%
	6,800	7,032	103.4%
	400	260	64.9%
	-	-	-
	-	-	-
	8,400	8,470	100.8%

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

26

2022年3月期 通期業績予想 下期 セグメント別業績予想



Confidence Enabled
人と社会が育たずには成れない未来へ

(百万円)	上 期			下 期			通 期		
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期予想	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期予想
海外市場	47,564 4,047	42,409 -196	54,850 1,354	56,057 5,733	62,356 3,613	65,150 3,646	103,621 9,780	104,765 3,417	120,000 5,000
金融市場	22,335 2,068	19,208 1,893	17,852 3,196	19,927 1,246	30,669 7,968	22,148 804	42,262 3,314	49,877 9,861	40,000 4,000
流通・交通 市場	25,483 2,919	21,076 622	23,558 2,010	27,004 2,279	28,002 1,048	25,442 490	52,487 5,198	49,078 1,670	49,000 2,500
遊技市場	10,543 1,293	4,874 -279	5,754 -106	10,210 705	6,146 -11	7,246 106	20,753 1,998	11,020 -290	13,000 0
その他	2,578 -1,309	1,056 -438	1,138 -720	2,467 -1,055	1,624 -18	1,862 -780	5,045 -2,364	2,680 -456	3,000 -1,500
合 計	108,505 9,018	88,625 1,600	103,154 5,735	115,665 8,909	128,798 12,601	121,846 4,265	224,170 17,927	217,423 14,201	225,000 10,000

上段：売上高
下段：営業利益

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

27

2022年3月期 通期業績予想 下期 海外地域別売上高予想



Confidence Enabled
人と社会が育む新たな価値の創造へ

(百万円)	上 期			下 期			通 期		
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期予想	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期予想
米州	17,103	13,439	16,782	21,356	21,452	25,218	38,459	34,891	42,000
欧州	20,703	19,578	29,726	23,416	30,710	29,274	44,119	50,288	59,000
アジア	6,782	6,822	5,341	8,485	7,908	9,159	15,267	14,730	14,500
中国	2,265	2,535	1,296	3,429	2,986	3,704	5,694	5,521	5,000
OEM	2,975	2,568	2,999	2,800	2,286	1,501	5,775	4,854	4,500
合 計	47,564	42,409	54,850	56,057	62,356	65,150	103,621	104,765	120,000

Acrelec sales	2019年1-6月期	2020年1-6月期	2021年1-6月期	2019年7-12月期	2020年7-12月期	2021年7-12月期	2019年1-12月期	2020年4-12月期	2021年1-12月期
米州	-	329	1,179	-	796	1,471	-	1,125	2,650
欧州	-	1,646	7,032	-	5,651	7,268	-	7,297	14,300
アジア	-	163	260	-	287	690	-	450	950
合 計	-	2,140	8,470	-	6,733	9,430	-	8,873	17,900

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

28

2022年3月期 通期業績予想 設備投資・配当金 など



Confidence Enabled
人と社会が育む新たな価値の創造へ

(百万円)	通 期			前期比	半期毎の推移					
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期予想							
設備投資額	10,687	9,739	10,000	+261 +2.7 %	4,615	6,072	4,706	5,033	4,764	5,236
					FY19 1H	FY19 2H	FY20 1H	FY20 2H	FY21 1H	FY21 2H(予)
減価償却費	10,133	10,706	10,000	-706 -6.6 %	4,851	5,282	5,101	5,605	5,625	4,375
					FY19 1H	FY19 2H	FY20 1H	FY20 2H	FY21 1H	FY21 2H(予)
研究開発費	14,082	14,730	14,000	-730 -5.0 %	6,663	7,419	6,921	7,809	7,244	6,756
					FY19 1H	FY19 2H	FY20 1H	FY20 2H	FY21 1H	FY21 2H(予)
配当 (円)	66	66	68	+2 円	32	34	30	36	34	34
					FY19 1H	FY19 2H	FY20 1H	FY20 2H	FY21 1H	FY21 2H(予)

連結業績の概要

連結業績の詳細

2022年3月期 業績予想

TOPICS

参考資料

29

＜注意事項＞

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。